

# 2島先行返還を

## 北方領土問題で 大地の鈴木代表

【札幌】新党大地の「大地塾9月例会」が24日、中央区のかでる2・7で開かれた。鈴木宗男代表は北方領土問題の解決に向けて「歯舞・色丹の2島(返還)は日本の国会も、ロシアの最高会議も批准している。2つは(返還しても)「残りはよい」とした上で、残り2島は共同管理や共同統治で時間を置いてもよい。安倍(晋三)首相は11月のプーチン大統領との会談でカードを切るべきだ」と持論を展開した。

鈴木代表は「領土問題は互いに簡単に妥協できない。運動ではなく交渉しなければならぬ」と指摘。

東京宣言やイルクーツク声明を例示し、「4島を挙げて話し合いで解決することになっている。残り2つもきちんと交渉していく」と強調。共同経済活動の必要性を語り、「ロシアのエネルギー保有と日本の応用技術がしっかりジョイントすれば世界に貢献する」と述べた。この日の例会には森喜朗元首相も出席し、プーチン氏が大統領復帰前に語った「引き分け」による北方領土問題の最終決着の意味について、「勝ち負けなし。4対0、0対4でない」ということ。後の2(島)については適用上どういふことができるかということだ」などと解釈を語った。

鈴木代表、鈴木貴子衆院

議員らが参加し、今月17、20日に行ったサハリン視察の報告も行われた。

## 黒字の東海 道に還元を

JR問題で  
森元首相

【札幌】新党大地の大地塾には森喜朗元首相も参加



新党大地の例会であり、さつする森元首相と鈴木代表(右から)

し、トラブルが続くJR北海道の問題に言及した。森氏はJR各社の収益構造や国鉄民営化以降、収益に差が生じていることなどに触れ、「リニアをやる(JR)東海は、もうかったお金があるならば1割は北海道に返すべきでは」と持論を述べた。

森氏はJR各社の現状について、「持てる地域と持てない地域があり、四国、九州、北海道、JR貨物は赤字になることが分かってきた」と説明。道内選出の国会議員に対しても、「国会議員は超党派で集まり、JR東海に行つて『1割でもいいから北海道に回せ』と主張すべきだ」と叱咤(しつた)した。

(犬飼裕一)